

14/7/1

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI
(c) 2005 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011629784

WPI Acc No: 1998-046912/ 199805

Slenderising composition for cosmetic - comprises extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine

Patent Assignee: NONOGAWA SHOJI KK (NONO-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9295932	A	19971118	JP 96135924	A	19960502	199805 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96135924 A 19960502

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9295932	A	8	A61K-007/48	

Abstract (Basic): JP 9295932 A

Slenderising cosmetic or agent comprises an extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine.

The cosmetic or agent preferably contains 0.001-20 (preferably 0.01-10.0) wt.% of the extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine.

ADVANTAGE - The cosmetic or agent has lipolytic activity. In an example, ethanol (5.0 pts. wt.), methyl p-hydroxybenzoate (0.1 pts. wt.), polyoxyethylene (40) hydrogenated castor oil (0.1 pts. wt.), perfume and purified water (10.0 pts. wt.) were fully mixed. An extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. (5.0 pts. wt.), caffeine (0.1 pts. wt.), 1,3-butylene glycol (3.0 pts. wt.), glycerol (2.0 pts. wt.), xanthan gum (0.02 pts. wt.) and purified water (69.5 pts.wt.) were fully mixed. Two solutions were combined and filtered to give a skin lotion.

Dwg.0/0

Derwent Class: B04; D21

International Patent Class (Main): A61K-007/48

International Patent Class (Additional): A61K-007/00; A61K-031/52;
A61K-035/78

14/7/1

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI

(c) 2005 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011629784

WPI Acc No: 1998-046912/ 199805

Slenderising composition for cosmetic - comprises extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine

Patent Assignee: NONOGAWA SHOJI KK (NONO-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9295932	A	19971118	JP 96135924	A	19960502	199805 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96135924 A 19960502

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9295932	A	8	A61K-007/48	

Abstract (Basic): JP 9295932 A

Slenderising cosmetic or agent comprises an extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine.

The cosmetic or agent preferably contains 0.001-20 (preferably 0.01-10.0) wt.% of the extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. and caffeine.

ADVANTAGE - The cosmetic or agent has lipolytic activity. In an example, ethanol (5.0 pts. wt.), methyl p-hydroxybenzoate (0.1 pts. wt.), polyoxyethylene (40) hydrogenated castor oil (0.1 pts. wt.), perfume and purified water (10.0 pts. wt.) were fully mixed. An extract of dried peels of Citrus unshiu Marc. (5.0 pts. wt.), caffeine (0.1 pts. wt.), 1,3-butylene glycol (3.0 pts. wt.), glycerol (2.0 pts. wt.), xanthan gum (0.02 pts. wt.) and purified water (69.5 pts.wt.) were fully mixed. Two solutions were combined and filtered to give a skin lotion.

Dwg.0/0

Derwent Class: B04; D21

International Patent Class (Main): A61K-007/48

International Patent Class (Additional): A61K-007/00; A61K-031/52;

A61K-035/78

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-295932

(43) 公開日 平成9年(1997)11月18日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/48		A 6 1 K	7/48
	7/00			7/00
				K
				D
				W
31/52	ACN		31/52	ACN
審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 8 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平8-135924

(22) 出願日 平成8年(1996)5月2日

(71) 出願人 000249908

有限会社野々川商事

愛知県名古屋市中区丸の内3丁目5番24号

(72) 発明者 岸 正孝

愛知県名古屋市西区鳥見町2-7 日本メ

ナード化粧品株式会社総合研究所内

(54) 【発明の名称】 化粧品用瘦身剤組成物

(57) 【要約】

【目的】 瘦身効果を有する瘦身用化粧品および瘦身剤を提供する。

【構成】 本発明は、チンピ抽出物およびカフェインを含むことを特徴とする瘦身用化粧品および瘦身剤である。チンピ抽出物およびカフェインは市販品を利用することができる。本発明の瘦身用化粧品は、基礎化粧品、メイクアップ化粧品、浴用剤、石鹸などの剤型を、そして、本発明の瘦身剤は、散剤、丸剤、錠剤、外用剤、注射剤、坐剤などの剤型を採用することができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 チンピ抽出物およびカフェインを含有することを特徴とする痩身用化粧料。

【請求項2】 チンピ抽出物およびカフェインを含有することを特徴とする痩身剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、チンピ抽出物およびカフェインを含有することを特徴とする痩身用化粧料および痩身剤に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に肥満は身体を構成する成分の内、脂肪組織の占める割合が異常に増加した状態をいう。すなわち、身体が必要とする量以上のエネルギーを摂取すると、その余ったエネルギーが脂肪組織を構成する脂肪細胞によって脂肪（トリグリセライド）に変化し、それが脂肪細胞内に異常に蓄積されて肥満が招来されるのである。これら蓄積された脂肪の分解を促進する方法として一般的に使用されている方法は、ホスホジエステラーゼを抑制して、環状 AMP の分解を阻止するか、または少なくとも制限することからなる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来から痩身剤として推奨されている諸種のホスホジエステラーゼ抑制剤としてはキサンチン誘導体、特にカフェインが挙げられるが、日本では配合量が制約されており、脂肪を分解する作用は充分ではない。そこで、本発明者らは、脂肪分解作用が強く痩身効果に優れた化粧料を得べく研究を重ねた結果、チンピ抽出物とカフェインを組み合わせることで、その相乗効果により初めて充分に脂肪分解効果を発揮し、痩身効果に優れていることを見出し、この知見に基づいて本発明を完成するに至った。

【0004】

実施例-1 化粧水

処方

1. エタノール	配合量
2. パラオキシ安息香酸メチル	5.0部
3. ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	0.1
4. 香料	0.1
5. 精製水	適量
6. チンピ抽出物	10.0
7. カフェイン	5.0
8. 1,3-ブチレングリコール	0.1
9. グリセリン	3.0
10. キサンタンガム	2.0
11. 精製水	0.02
	69.5

製造方法：成分1～5および成分6～11をそれぞれ均一に溶解し、混合し汙過して製品とする。

【0008】比較例-1 従来の化粧水

実施例-2 クリーム

【問題を解決するための手段】即ち、本発明はチンピ抽出物およびカフェインを配合することを特徴とする痩身用化粧料および痩身剤である。本発明で用いられるチンピ抽出物およびカフェインは市販品を利用することが出来る。また、市販される生薬、チンピ（陳皮）を常法により抽出して利用することも出来る。例えば、チンピに水、エタノール、1,3-ブチレングリコール、プロピレングリコールなどの単独あるいは混合溶媒を加えて抽出する。抽出は常温でも加熱してもよく、抽出後、溶媒は留去してもよい。

【0005】チンピ抽出物およびカフェインは、本発明の痩身用化粧料あるいは痩身剤の全量中それぞれ0.001～20重量%、好ましくは、0.01～10.0重量%配合することができる。0.001%以下の濃度では充分な効果が得られず、20重量%以上の濃度では効果の増強が認められず不経済である。本発明の痩身用化粧料および痩身剤にはチンピ抽出物およびカフェインの効果を損なわない範囲内で、化粧料や医薬などに使用される油脂類、ロウ類、炭化水素類、脂肪酸類、アルコール類、エステル類、界面活性剤などの原料を配合することができる。本発明の痩身用化粧料は、クリーム、ローション、乳液、パックなどの基礎化粧料、ファンデーション、リップスティックなどのメイクアップ化粧料、浴用剤、石鹸などの剤型を採用することができる。また、本発明の痩身剤の剤型は、散剤、丸剤、錠剤、注射剤、坐剤、外用剤などとされ、通常の製剤化技術に従って製造される。一日の投与量は、1mg～100mg好ましくは2mg～50mgで、2～3回に分けて投与することができる。

【0006】

【実施例】次に本発明を詳細に説明するため実施例を挙げるが、本発明はこれに限定されるものではない。実施例に示す配合量の部とは重量部を示す。

【0007】

配合量
5.0部
0.1
0.1
適量
10.0
5.0
0.1
3.0
2.0
0.02
69.5

実施例-1において、チンピ抽出物およびカフェインを精製水に置き換えたものを従来の化粧水とした。

【0009】

処方	配合量
1.流動パラフィン	6.5部
2.ワセリン	10.0
3.ステアリン酸	4.0
4.セチルアルコール	3.0
5.ステアリルアルコール	1.0
6.ポリオキシエチレン(25)モノステアレート	3.0
7.ソルビタンモノステアレート	2.5
8.1,3-ブチレングリコール	5.0
9.水酸化カリウム	0.1
10.チンビ抽出物	2.0
11.カフェイン	0.05
12.パラオキシ安息香酸メチル	0.2
13.精製水	60.5
14.香料	適量

製造方法：油相成分1〜7および水相成分8〜13をそれぞれ70〜75℃に加熱溶解した後、油相成分1〜7に水相成分8〜13を加えて乳化し、冷却途上で成分14を加えて混合

し、30℃まで冷却して製品とする。

【0010】

実施例-3 乳液

処方	配合量
1.流動パラフィン	8.0部
2.スクワラン	2.0
3.ステアリルアルコール	2.0
4.ソルビタンモノオレート	2.5
5.グリセリンモノステアレート	2.3
6.ポリオキシエチレン(10)ソルビタンモノオレート	0.8
7.グリセリン	6.0
8.チンビ抽出物	1.0
9.カフェイン	0.1
10.パラオキシ安息香酸メチル	0.2
11.精製水	76.0
12.香料	適量

製造方法：油相成分1〜6および水相成分7〜11をそれぞれ70〜75℃に加熱溶解した後、油相成分1〜6に水相成分7〜11を加えて乳化し、冷却途上で成分12を加えて混合し、30℃まで冷却して製品とする。

【0011】比較例-2 従来の乳液

実施例-3において、チンビ抽出物およびカフェインを精製水に置き換えたものを従来の乳液とした。

【0012】

実施例-4 バック

処方	配合量
1.ポリビニルアルコール	12.0部
2.エチルアルコール	5.0
3.1,3-ブチレングリコール	8.0
4.パラオキシ安息香酸メチル	0.2
5.ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	0.5
6.チンビ抽出物	1.0
7.カフェイン	0.1
8.クエン酸	0.1
9.クエン酸ナトリウム	0.3
10.香料	0.1
11.精製水	73.7

製造方法：各成分を均一に溶解し製品とする。

【0013】

実施例-5 ファンデーション

処方	配合量
1.ステアリン酸	2.4部
2.ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノステアレート	1.0
3.ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル	2.0
4.セチルアルコール	1.0
5.液状ラノリン	2.0
6.流動パラフィン	3.0
7.ミリスチン酸イソプロピル	6.5
8.パラオキシ安息香酸ブチル	0.1
9.精製水	58.2
10.チンピ抽出物	0.1
11.カフェイン	0.1
12.カルボキシメチルセルロースナトリウム	0.1
13.ベントナイト	0.5
14.プロピレングリコール	4.0
15.トリエタノールアミン	1.1
16.パラオキシ安息香酸メチル	0.2
17.酸化チタン	8.0
18.タルク	4.0
19.着色顔料	5.0
20.香料	適量

製造方法：成分10～14および16を70℃に加熱しよく膨潤させる。これに成分9および15を溶解し水相とする。成分1～8を加熱溶解し、80℃に保ち油相とする。よく混合し粉碎機に通し粉碎した成分17～19を水相に加え、ホモ

ミキサーで攪拌し75℃に保つ。この水相に油相をかきまぜながら加え、冷却し、45℃で成分20を加え、攪拌しながら冷却し製品とする。

【0014】

実施例-6 浴剤

処方	配合量
1.硫酸ナトリウム	43.0部
2.炭酸水素ナトリウム	50.0
3.チンピ抽出物	5.0
4.カフェイン	0.1
5.黄色202号の(1)	適量
6.香料	適量

製造方法：各成分をよく混合し製品とする。

【0015】

実施例-7 油脂性軟膏

処方	配合量
1.精製ラノリン	5.0部
2.サラシミツロウ	5.0
3.チンピ抽出物	1.0
4.カフェイン	0.1
5.白色ワセリン	88.0

製造方法：各成分をよく混合して製品とする。

【0016】

実施例-8 乳剤性軟膏

処方	配合量
1.白色ワセリン	25.0
2.ステアリルアルコール	22.0
3.プロピレングリコール	12.0
4.ラウリル硫酸ナトリウム	1.5
5.パラオキシ安息香酸エチル	0.025

6. パラオキシ安息香酸プロピル	0.015
7. チンピ抽出物	1.0
8. カフェイン	0.1
9. 精製水	37.55

製造方法：油相成分1～2および水相成分3～9をそれぞれ70～75℃に加熱溶解した後、油相成分1～2に水相成分3

～9を加えて乳化し、30℃まで冷却して製品とする。

【0017】

実施例-9 乳剤性軟膏

処方	配合量
1. コレステロール	3.0
2. ステアリルアルコール	3.0
3. サラシミツロウ	8.0
4. チンピ抽出物	1.0
5. カフェイン	0.1
6. 白色ワセリン	84.0

製造方法：各成分を混合し70～75℃に加熱溶解した後、30℃まで冷却して製品とする。

【0018】

実施例-10 水溶性軟膏

処方	配合量
1. ポリエチレングリコール4000	48.0
2. ポリエチレングリコール400	48.0
3. チンピ抽出物	2.0
4. カフェイン	0.2

製造方法：各成分を均一に溶解し製品とする。

【0019】

実施例-11 ローション剤

処方	配合量
1. ステアリルアルコール	2.5
2. 流動パラフィン	25.0
3. ラウリル硫酸ナトリウム	1.0
4. プロピレングリコール	12.0
5. パラオキシ安息香酸メチル	0.025
6. パラオキシ安息香酸プロピル	0.025
7. チンピ抽出物	5.0
8. カフェイン	0.5
9. 精製水	49.45

製造方法：油相成分1～2および水相成分3～9をそれぞれ70～75℃に加熱溶解した後、油相成分1～2に水相成分3

～9を加えて乳化し、30℃まで冷却して製品とする。

【0020】

実施例-12 錠剤

処方	配合量
1. チンピ抽出物	10.0部
2. カフェイン	1.0
3. トウモロコシデンブ	10.0
4. 精製白糖	20.0
5. カルボキシメチルセルロースカルシウム	10.0
6. 微結晶セルロース	25.0
7. ポリビニルピロリドン	5.0
8. タルク	2.0

製造方法：成分1～6を混合し、次いで成分7の水溶液を結合剤として加えて常法により顆粒化した。これに滑沢剤として成分8を加えて配合した後、1錠100mgの錠剤に

打錠した。

【0021】

実施例-13 散剤

処方	配合量
1. チンビ抽出物	10部
2. カフェイン	1
3. トウモロコシデンブ	40
4. 微結晶セルロース	50

製造方法：上記成分を混合し、常法により散剤とした。 【0022】

実施例-14 注射剤

処方	配合量
1. チンビ抽出物	10.0部
2. カフェイン	1.0
3. ポリオキシエチレン (60) 硬化ヒマシ油	37.0
4. ゴマ油	2.0
5. 塩化ナトリウム	9.0
6. プロピレングリコール	40.0
7. リン酸緩衝液 (0.1M, pH 6.0)	100.0
8. 蒸留水	792.0

製造方法：成分1~4および半量の成分6を混合して約80℃で加温溶解し、これに成分7および成分5と成分6を予め溶解した蒸留水を約80℃に加温して加え全量1000mlの水溶液とした。この水溶液を1mlのアンフルに分注して密封した後、加熱滅菌した。

【0023】

【発明の効果】本発明の痩身用化粧料および痩身剤は優れた脂肪分解活性および痩身効果を有する。次に実施例を挙げて、本発明の痩身用化粧料および痩身剤の効果をさらに詳しく説明する。尚、以下の実施例で用いたチンビ抽出物は、チンビに10倍量の50% (V/V) エタノール水溶液を加え、1週間、室温で抽出した後、濾過した濾液を凍結乾燥して用いた。

【0024】実施例-1 ラット副腎丸脂肪細胞を用いた脂肪分解活性試験

Wistar系雄性ラットより副腎丸脂肪組織を摘出し、細切

した後にコラゲナーゼ処理を行うことにより脂肪細胞を採取した。得られた脂肪細胞 2×10^4 にチンビのエタノール抽出物およびカフェインを添加することにより反応を開始した。1時間後反応を停止し反応液中に含まれる脂肪酸を脂肪酸定量キットを用いて測定した。その結果、チンビのエタノール抽出物0.5mg/mlおよびカフェイン0.1mg/mlは、それぞれ単独では脂肪分解活性を示さなかったが、両者を組み合わせることにより著しい脂肪分解活性を示した（表1）。また、チンビの熱水抽出物、1,3-ブチレングリコール抽出物及びプロピレングリコール抽出物についても同様に試験を行ったところ、同程度の脂肪分解活性を示した。

以下余白

【0025】

【表1】

表1 脂肪分解活性

試料 (試料濃度)	脂肪酸量 (mEq/l)	脂肪分解促進率 (%)
対照	0.067	
チンビ抽出物 (0.1mg/ml)	0.071	6
チンビ抽出物 (0.3mg/ml)	0.073	9
チンビ抽出物 (0.5mg/ml)	0.10	51
カフェイン (0.05mg/ml)	0.071	6
カフェイン (0.1mg/ml)	0.074	11
チンビ抽出物 (0.1mg/ml) + カフェイン (0.05mg/ml)	0.098	46
チンビ抽出物 (0.1mg/ml) + カフェイン (0.1mg/ml)	0.28	320
チンビ抽出物 (0.3mg/ml) + カフェイン (0.05mg/ml)	0.14	110
チンビ抽出物 (0.3mg/ml) + カフェイン (0.1mg/ml)	0.87	1200

チンビ抽出物 (0.5mg/ml)		
+カフェイン (0.05mg/ml)	0.32	380
チンビ抽出物 (0.5mg/ml)		
+カフェイン (0.1mg/ml)	1.28	1800

以下余白

【0026】実験例-2 使用試験

実施例-1の化粧水、実施例-3の乳液、比較例-1の従来の化粧水および比較例-2の従来の乳液を用いて、各々女性30人(30~45才)を対象に1ヶ月間の使用試験を行った。使用后、肌の引き締め感、張りおよび

弾力感に関するアンケート調査により瘦身効果を判定した。その結果、チンビ抽出物およびカフェインを含有することを特徴とする化粧料は優れた瘦身効果を示した(表2、表3、表4、表5)。

【0027】

【表2】

表2 本発明の化粧水の瘦身効果(アンケート結果の人数)

評価	本発明の化粧水(実施例-1)		
	非常によい	良い	普通
肌の引き締め感	20	7	3
肌の張り	19	8	3
肌の弾力感	18	8	4

以下余白

【0028】

【表3】

表3 従来の化粧水の瘦身効果(アンケート結果の人数)

評価	従来の化粧水(比較例-1)		
	非常によい	良い	普通
肌の引き締め感	3	7	20
肌の張り	2	7	21
肌の弾力感	4	9	17

【0029】

【表4】

表4 本発明の乳液の瘦身効果(アンケート結果の人数)

評価	本発明の乳液(実施例-3)		
	非常によい	良い	普通
肌の引き締め感	20	8	2
肌の張り	16	10	4
肌の弾力感	19	8	3

以下余白

【0030】

【表5】

表5 従来の乳液の瘦身効果(アンケート結果の人数)

評価	従来の乳液(比較例-2)		
	非常によい	良い	普通

	非常によい	良い	普通
肌の引き締め感	5	4	21
肌の張り	4	7	19
肌の弾力感	2	8	20

他の実施例についても同様に使用試験を行ったところ、同程度の効果が得られた。以上示した様に、チンピの抽出物およびカフェインは組み合わせることにより、単独

では示さない優れた脂肪分解活性を示し、また本発明のチンピの抽出物およびカフェインを配合した化粧品および痩身剤は優れた痩身効果を示した。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶
A61K 35/78

識別記号
ADA

庁内整理番号

FI
A61K 35/78

技術表示箇所
ADAK

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.